

市議団ニュース

木村奉憲 22-8567、杉野 修 58-9010
石田利春 52-7260、渡辺昌代 21-9058

1,767 人が新成人に仲間入り

希望の持てる社会を
ともにつくろう！

日本共産党久喜市議団

今の若者はバブル経済がはじけた後に生まれました。その意味においては、「右肩上がりの景気」を知らないで育ってきた世代です。その多くが派遣社員や、期間工、アルバイトなどの非正規雇用と学生です。

子どもの時から不況の中で育ち、成人になった現在も、低くて不安定な収入です。ですから「結婚」や「子育て」そのものに困難をかかえている若者が多く存在しているのです。

国はもちろん地方自治体も、そして社会全体がこうした若者の深刻な実態をしっかりと見ることが大事です。その上で雇用や、最低賃年金設計などで暮らしを支援することが急がれています。

今年こそ政治を変えて希望の持てる年にしたいものです。



驚宮会場では
地元驚宮太鼓
で成人を歓迎



田中市長からの祝辞に
新成人の代表が「誓いの
ことば」を読み上げた
決意を新たにしました

八日、久喜市内4か所で成人式が行われました。（対象者1767人）参加者は学生時代の友人たちとのなつかしい再会と新成人になった喜びに浸っていました。
式典の後は成人の運営で「二十歳のつどい」にぎやかに行われました。

若者よ 未来にはばたけ

成人式対象者数（1月1日現在・人）

	久喜地区	菖蒲地区	栗橋地区	驚宮地区	市の合計
男	427	110	158	187	882
女	404	105	171	205	885
合計	831	215	329	392	1,767

議会改革への検討が行われました

合併後の久喜市議会では、議会の在り方や、運営方法を中心にした「改革」案を各会派から持ち寄り、検討を進めてきました。昨年4月26日に第1回目の検討が始められ、1月10日の第11回までの間、100項目の事案についての真剣な話し合いを積み重ねてきました。（委員数8名、委員長・鈴木精一氏）

その結果、50項目について「合意」に達し、できるものはただちに実施へ、そして予算付けの必要な事案は24年度当初予算に盛り込むことになりました。

【合意できた主なもの】

- ☆市議会のインターネット中継は予算化を要望する。
- ☆議案質疑の際の「反問権」は認める。2月議会で先議。
- ☆委員会審議では、できるだけ参考人から意見を求める。
- ☆市の基本計画は「議決対象」として条例化する。
- ☆「会派室」は設置について検討する。
- ☆聴覚障がい者の求めにより議会に手話通訳者を配置する。
- ☆議会図書室の蔵書も市立図書館で一覧できるようにする。

【合意に達しなかった主な課題】

- ◆議会として市民に行く「議会報告会」を実施すること。
- ◆議会基本条例の策定。（継続的な勉強の場を設けるで合意）
- ◆議員政治倫理条例を策定すること。
- ◆本会議において、通告外の質疑をできるだけ認めること。
- ◆議員間での自由討議、政策討議の場を増やすこと。
- ◆議長は、会派に属さない。「短期後退」は是正すること。

はしご車による操法



出初め式

1月8日

消防団の分列行進



消防団は、消火活動や救出活動、避難誘導など災害時に大きな役割を果たしています。出初め式は今から340年前の江戸時代から続いている伝統行事です。
ことしも久喜駅前20m道路において、正月恒例の「出初め式」が行われました。当日は、天気にも恵まれ、穏やかな中にも心地よい緊張の中で行事が行われました。
空からは救助ヘリコプターが飛来して出初め式を祝いました。また、消防団は団員数の減少など課題も多く、充実と強化が求められています。2012年度から消防団の所掌が久喜市行政の範囲になります。ご要望もおよせください。

アメリカや大企業ではなく、日本国民に思いやりを

国民に負担を押し付ける 『税と社会保障の一体改革』

民主党野田内閣の2012年度予算案が閣議決定されました。総選挙で自ら公約した内容と反し国民を裏切る内容が並びました。

《くらし》

- ・2012年度から年金支給額を1.2%削減。
- ・消費税率引き上げ。

2015年には10%に

- ・介護保険料、利用料引き上げ。
- ・一部を除いてビタミン剤を保険適用から外す。

- ・小学2年生以上の35人以下学級法制化の見送り。

《大企業・富裕者層》

法人実効税率5%引き下げ、証券優遇税制を2年延長。

大型公共事業の継続

八ッ場ダム（56億円）、環道など幹線道路の整備（489.9億円）

《軍事》

米軍関係経費に2660億円
次期戦闘機F35（4機）に600億円
などです。

日本共産党は財源問題を次のように考えます。

総工費9千億円もかかる八ッ場ダムの再開や、1メートル1億円もかかる外環道の建設などの大型公共事業はいますぐ必要はありません。1機99億円もする次期主力戦闘機42機の配置計画は維持費もふくめると1兆円を超えるといわれています。軍事費を聖域にせずに見直すべきです。さらに原発推進費も4200億円も温存されています。

大企業の法人税を5%引き下げて1兆2千億円も減税したり、大資産家に証券優遇税制を延長して5千億円も減税することはやめるべきです。政党助成金320億円こそ先に手をつけるべきです。今回の増税計画を実行すれば日本経済はどん底に突き落とされることになります。派遣労働や契約社員など年収200万円以下の労働者への負担が大きい消費税は本当に不公平な税制です。増税などんでもありません。
日本共産党はくらし、平和、福祉を守る政治をめざします。



放射線量のホットスポット
栗橋西中学校の除染実施される

2011年12月12日の調査で1.582マイクロシーベルト/毎時が検出され、除染を12月29日および1月4日から7日に汚染された表土を剥ぎ取り新たに土を盛る除染を実施。雨どいは水路に流れる工事を実施しています。今後も定期的な測定を行うとしています。



渡辺まさよ

健康に十分留意しながら、市民の声をしっかりと届けられるようにがんばります。

明るい未来を切り開けるように、市民の具体的な要望を反映した政策作りをすすめたい。



木村とものり

今年の抱負



杉野おさむ

こんなに国民がばかにされている政治では困ります。一緒に変えていきましよう。

消費税増税が叫ばれる今年、今年は私たちが声を上げるときです。共にがんばりましよう。



石田としはる